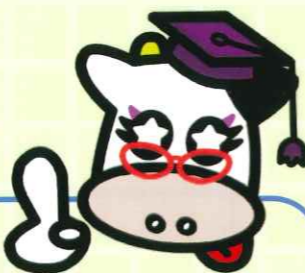


# プラスチックのいいところは？

## プラスチックのメリット



### 軽くて丈夫、携帯に便利

⇒代表的な例がペットボトルです。落としても割れず、キャップを閉めることで中身がこぼれないなど携帯するのに便利です。

### 密封性、耐熱性に優れる

⇒冷凍保存容器など、耐熱・耐寒性に優れたものは、電子レンジ等で解凍できます。

### 複合材が品質を長期間保つ

⇒数種類のプラスチックを重ね合わせて作る複合材は、酸素や湿気などから食品を守り、品質を長期間保つことができます。

### 透明性があり、着色も自由

⇒透明性が高いため、中の食品がよく見えます。着色も容易なので、様々なデザインの製品を作れます。



**プラスチックは、非常に優れた性能をもち、私たちが生活するうえで欠かすことのできない素材となっています。**

# プラスチックはなぜ問題になっているの？

昨今問題となっているのが、プラスチックが海まで流れ出てしまう事です。海に流れ出たプラスチックは、紫外線や海の流れなどによって細かく砕かれます。こうして5mm以下まで小さくなったプラスチックは「マイクロプラスチック」と呼ばれます。マイクロプラスチックは非常に小さいため、海から回収することは極めて困難であり、マイクロプラスチックを誤って食べてしまった魚などの体内に蓄積されてしまう恐れもあります。



**こうした環境への悪影響を未然に防ぐために、私たちは何ができるのでしょうか？**

# 3Rとは



# プラス3R



令和元年8月27日に、栃木県及び栃木県内全25市町による「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」が採択されました。従来の3Rに加え、プラスチックを含めたごみ減量のために次のプラス3Rを紹介しています。

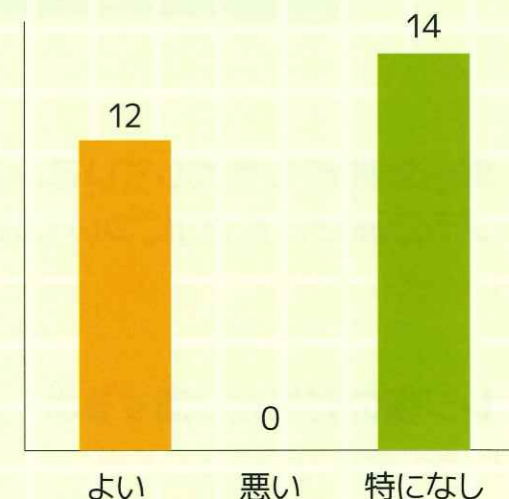
# 生分解性ストローの実証事業を行いました！

近年、海のプラスチックごみが深刻な問題になり、使い捨てプラスチック製品を削減する動きが世界的に広まりつつあります。なかでもプラスチック製のストローには国内外で注目が集まっており、紙製ストローによる代替や、ストロー自体の使用を取りやめる飲食店も出てきています。そこで、市内の26店舗にご協力いただき、生分解性素材を利用したストローを実際に使ってもらいました。

今回使用した生分解性ストローは、トウモロコシから作られた原料を使用し、従来のプラスチック製ストローと変わらない機能性を備えています。また、土中に埋めると微生物の働きにより水と二酸化炭素に分解されます。

協力店から回答いただいたアンケートの結果については以下のとおりです。

成分解性ストローを使用したお客様の反応



- ▶従来のストローと何の変化もなく使用できるから
- ▶特に興味を示していなかったから
- ▶特に説明していないから
- ▶いい意味で反応なし。悪い印象はないと思う
- ▶ストローであれば何でもいいということだと思う
- ▶環境に配慮していて使用感がいいから

今回の実証事業では、生分解性ストローを使用して反応が悪かったという意見は1件もなく、皆さんが普段使用しているプラスチック製のストローと比べ、違和感なく使用されていたことがわかります。

**市では、今後も実証事業などを通じて市民や事業者へ「プラスチックごみ」に関する啓発を行い、ごみの減量化や資源化の向上を目指します！**